



彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク
あったかウェルねっとニュース 第10号
 2007年12月20日発行
 ホームページアドレス <http://www.geocities.jp/attaka17/>

一步ずつ福祉の輪を広げよう

あったかウェルねっと代表：坪井敏衛

師走の慌しさの中で、会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。あったかウェルねっとニュースも第10号を発行することができました。これも偏に皆様のご協力のお陰です。情報提供とともに地道な活動を紹介する場、あるいは、示唆を得る機会としての役割を果たしております。今後とも身近な会報にしていきましょう。

さて、10月13日（土）に三芳町文化会館で開催されたネットワーク研修「福祉交流セミナー2007」には、110名の方の参加があり、実りある研修会になりました。三芳町の推進員及び社協の皆様には大変お世話さまでした。参加者の声も生かし来年度以降の更なる充実に努めています。

夏の推進員養成研修も8期生が修了し、ねっとの仲間が増えました。地域で活躍する推進員が増すことは心強いものがあります。さらに強固なものとするために、連絡と連携を密にし、身の回りの福祉から輪を広げていきたいものです。「自分のしあわせ みんなのしあわせ」が実感です。手を携え、次の一步を踏み出し、福祉の輪を広げていきましょう。

推進員フォローアップ研修 参加者募集！

~県社協とあったかウェルねっと 共催事業~

地域を知ろう
 地域の人としていっしょに考えよう

共催のうち、1日目を特に共同企画しているため、ここでは、1日目についてご案内します。

日時：平成20年1月19日（土）（1日目）

10:00～16:00

場所：彩の国すこやかプラザ2階

研修室1・2・3

（TEL 048-822-1192）

JR京浜東北線「与野駅」西口下車徒歩10分

参加費：無料（手話通訳あり）

定員：60名

内容：講義と演習

講師＆ファシリテーター：石井ナナ卫氏

（NPOふじみの国際交流センター理事長）

10:00～11:40

「地域で暮らす外国籍の方の実状と課題」

～地域で共に暮らすための相互理解とは～

11:40～12:40 昼休み

12:40～16:00

事例発表「日本での暮らしについて」

（発表者）ふじみの市近隣在住の外国人の皆さん

グループワーク

「実際に聞いてみんなで考えよう」

どんな課題が？地域では何ができる？

申込み先：埼玉県社協 地域福祉課（石田）

TEL：048-822-1435

FAX：048-822-1449

Eメール：ishida@fukushi-saitama.or.jp

申込み〆切：平成20年1月15日（火）

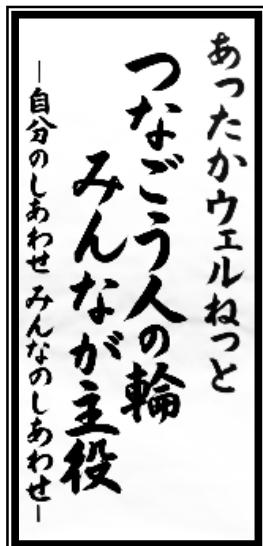
2日目の1月25日（金）については、別紙実施要領をご覧ください。

お問い合わせは、ねっと事務局（横田）へ

Tel/Fax 049-281-3161

ねっと主催事業の報告

10月13日(土)、三芳町文化会館「コピスみよし」で、「2007福祉交流セミナー」を開催しました。第1期から8期までの推進員約60名を含め、三芳町や県社協、来賓の埼玉県健康福祉部福祉政策課、企業など、県内20市町村から110名もの参加があり、今年度のあつたかウェルねっと主催事業は、大盛況のうちに終りました。



やってみるコーナーでは、音訳、デージー図書、拡大写本、要約筆記、手話など様々なブースがあり、体験コーナーもありました。



伝えあう・アイディア・ユニバーサルコーナーでは、車いす利用でも創意工夫で快適な暮らし、高齢者疑似体験、総合的な学習を通じて子どもたちの課題の気づきなどの展示、視覚障害と生活グッズ、音声機器や暮らしの工夫など、体験ブースが勢揃いし、関心を呼んでいました。



企業のユニバーサルコーナーでは、音声と文字に対応する「携帯&音声機器」が並び、列ができるほどの人気でした。

会議室には、学校&地域コーナーもあり、タイムスケジュールに沿って、各地の実践報告があり、推進員としての取り組みを発表しました。



メイン会場のホールには、ホームレス支援 NPOコーナーはじめとする展示や、マイケアプランワークショップなどが賑やかに展開し、情報交換が盛んでした。

昼食時には、高齢者の食事体験やきざみ食・プロック食の試食ができ、高齢者の食事について皆で実感し合いました。

午後からは、このホールが全員集合の研修会場になり、視覚障害・車いす利用・重度障害・ヤングボランティア・知的障害に関して、三芳町の福祉教育プログラムからの事例発表があり、「学校での福祉教育」「地域での福祉教育」をテーマに日頃の想いなど、意見交換をしました。



企画から参加くださった推進員や三芳町のみなさんをはじめ、県社協や県教育委員会、県健康福祉部、そして、企業や参加者のご協力のおかげで、充実した内容に加え、あたたかい出会いと交流のセミナーになりました。

ご協力いただいた皆さん、有難うございました。

推進員 各地で活躍

...初任者研修で講師役...

脇・松嶋・郷・吉田・稻葉・権藤・木野
(第2期～第5期・三芳町、桶川市、嵐山町他)

埼玉県高等学校初任者研修会が埼玉県立総合教育センターで行われました。12月5日(水)の研修では推進員7名が講師として行ってきました。福祉教育で大切にしたい視点を交え、80人の高等学校新人教員の方々に、ガイドヘルプをする・される体験と、心を通い合わせる大切さを伝えました。教師として積極的に学ぶ姿勢に感心するとともに、豊かな福祉観をもって生徒に伝えて欲しいと願って、帰途につきました。

...たくさんの出会い...

水出智津(第6期・さいたま市)

これまで、さいたま市内を中心としてたくさんの小・中学校の総合学習の時間に、盲導犬のユザとお邪魔してきました。小学校19校、中学校9校に行きましたが、一学期も合わせると出会った生徒さんは5000人を超えるかも知れません。通い始めて7年になりますが、子供たちが楽しみながら学ぶ様子も分かるようになり、有意義なひとときを過ごすことができています。

地域でも、いろいろな人との出会いがあり、広い視野を持てる人が少しでも増えるよう、来年も、気力の続くかぎり、積極的に社会参加していくといつも思っています。

...坂戸市立坂戸中学校3年生と...

横田・須田・高橋・関口・丸山・倉持・木野・矢島
(第1期～第7期・坂戸市、毛呂山町、他)

昨年度に続き、あつたかウェルねっとがコーディネート役を務め、3年生2学期の総合的な学習の時間・福祉ボランティア学習「坂中タイム」全15回に亘り、生徒・教師と地域の福祉関係者や様々なボランティアたちと一緒に学び合いました。これは、2005・2006年度に深谷市立南中

学校で行われた「学校と民間の協同プラン開発事業」がきっかけとなつた取り組みです。



今年の3年生は「探求・共生・表現」を学習目標に、地域で共に暮らす様々な人たちと出会い、グループでの大規模＆中規模の体験学習を通じて、気づいた課題ごとに地域に出ていき、「坂戸のまちの福祉」を調べ、ボランティア体験からの課題をまとめました。最終回の学年発表会では、生徒達の地域へのあたたかい気持ちが伝わって来て、関わってきた推進員やボランティア達からも大きな拍手が送られていました。

...シラコバト30周年記念事業・第2分科会...

横田八枝子(第1期・坂戸市)

11月29日(木)埼玉県県民健康センターで、埼玉県シラコバト長寿社会福祉基金設置30周年記念事業「広げよう、支え合い、地域の輪」が開催され、坪井代表や世話人數名と参加しました。

午後の第2分科会「地域福祉が充実するこれから時代のボランティア・市民活動～暮らしやすいまちを創る市民と行政・社協との協働とは～」のパネルディスカッションで、地域でのボランティア活動や県内の推進員活動からの「福祉教育とボランティア・市民活動での協働実践」について発表しました。(詳しくは、県のホームページに掲載)

...世話人会のお知らせ...

毎月第2土曜日は、ねっと世話人会を行っています。ねっと会員は、誰でもいつでも「世話人会」に、参加できます。出席できる方は、事務局宛、又は、県社協まで、事前にご連絡をお願いします。

日時 毎月第2土曜日 午後1:00～4:00

場所 彩の国すこやかプラザ2階

県社協ボランティアセンター作業室

内容 事業計画等の打ち合わせ＆情報交換など

県社協からの情報★★★

平成19年度フォローアップ研修

平成20年1月19日(土)、1月25日(金)の二日間、住民が地域課題を自らの問題として捉え、福祉教育実践を通して課題提起していく力を身に付け、よりよい福祉教育実践を展開することを目的とする研修内容となっています。詳しくは、別紙(要項&申込書)をご覧ください。

平成19年度福祉教育・ボランティア学習推進員養成研修修了 推進員665名に

埼玉県福祉教育・ボランティア学習推進員養成研修では、平成12年から現在までに665名を推進員として認定してきました。

実施から8年目となる今年は、福祉教育・ボランティア学習のあり方と具体的な推進方策について研修を行い、住民の主体的な参加による地域福祉活動を、社協をはじめとする関係機関と協同して進めていくことができる担い手の養成を目的として実施しました。そして、新たに74名の推進員が誕生しています。

オレンジリボン運動を知っていますか?

最近、民生委員さんや施設職員、行政職員、社協職員の胸にオレンジ色のリボンをしているのを見かけたことはありませんか。このリボンは、2006年から「児童虐待防止全国ネットワーク」と「厚生労働省」の協働により全国的に活動を広めているものです。

ことのはじまりは、2004年9月、栃木県小山市で二人の幼い兄弟が虐待の末、橋の上から川に投げ入れられて亡くなる事件がありました。そのことをきっかけに子ども虐待防止を目指した小山市のカンガルーOYAMAという団体が、2005年にオレンジリボンキャンペーンを始め、他の団体が賛同して運動が広まっています。

推進員として、小・中学校や地域で福祉教育・ボランティア学習に携わる機会も多く、こども達の行動を目につくこともあるでしょう。そんな時、「この子達は元気かな?」など、ちょっとした気遣いが、次代を担う子どもたちを守ることにつながることもあると思います。(詳しくは、オレンジのリボン運動サイトへ)

日本福祉教育・ボランティア学習推進学会 第13回 静岡大会 の報告

平成19年11月24、25日に日本福祉教育・ボランティア学習推進学会第13回大会静岡大会が「福祉と教育のつながりを深め、豊かな市民社会を創る」のテーマで開催されました。その中で、静岡県の取り組みで「学校と地域社会のつながりと、これからの参加型の市民社会を創る『福祉』と『教育』の連携のあり方」についての実践を紹介します。

民生 東京都狛江市社協「ふくしえほん『あいとぴあ』活用実践から」

狛江市社協では、平成2年にあいとぴあ推進計画を策定し、『幼稚期からの福祉教育の実践』に力を入れ、これまでの福祉教育実践を元に作成した「ふくしえほん」を5歳児に対して配布している。実施を通し、保育者・幼児教育者の関心が高かったことから、市民への?「研修会」や「ふくしえほん活用ヒント集」の作成を行っています。幼児の生活体験の充実や保護者の福祉教育理解にもつながり、地域における福祉教育への関心・意識の高まりは確実に広がりを見せています。一方で、継続性や関係者への客観的な評価の提示などの取り組みへの課題が挙げられています。

- - - - -

会計より会費納入先のお知らせ

ねっと会費(年1000円)は、お手数ですが下記の振込先まで納入くださいますようお願いします。

振込先:埼玉りそな銀行武藏浦和支店・普通預金

口座番号:5015782

名義:彩の国福祉教育ボランティア学習推進員ネットワーク

編集後記

「ふだんのくらしの
しあわせ」を合い言葉
に、来年もどうぞよろ
しくお願いします。

あつたかウェルねっとの「ウェル(WELL)」は Welfare(福祉) Well Being(幸福)の Well(大切のこと)いう意味です。私たちのネット愛称には「温かぬいで一人ひとりを大切に思うつながり」でありたいとの願いが込められています。

発行:彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク

(愛称:あつたかウェルねっと)

編集:あつたかウェルねっと世話人会(情報担当)

連絡:埼玉県社会福祉協議会埼玉県ボランティア市民活動センター

(担当:高山・石田)

TEL: 048-822-1435 FAX: 048-822-1449

Eメール: vc@fukushi-saitama.or.jp